

■診療材料検討委員会

日常診療で用いられる輸液セット、各種チューブ・カニューレ等の診療材料に関しては、今まで組織だった検討はなされていませんでした。特に2004年度から外科部門と呼吸器内科の一部が札幌南三条病院に移転し、また当院において療養病棟が開設したため、安全性・使いやすさ・経済性を考慮した上で診療材料を再検討する必要が生じました。そこで2004年9月に本委員会は設置されました。

委員会は医師2名、看護師4名から構成されています。2004年9月から月1回の定例会において種類別に診療材料の検討を行いました。最終的には採用品を356品目（複数規格を含む）まで絞り、診療材料の在庫を減らすことができました（品目数で約3分の1）。

さらに2005年度からは、中央材料室にある在庫の大部分を北医企画に引き取っていただき、その管理を北医企画にお願いすることとなりました。これにより病院の在庫がさらに減少し、より効率的な診療材料の管理が期待できます。

今後も皆さんの意見を伺いながら徐々に検討をすすめていきたいと思っています。

文責 後藤 真彦